

Covid-19 自宅療養者への医療提供

広島県オンライン診療センター設置について

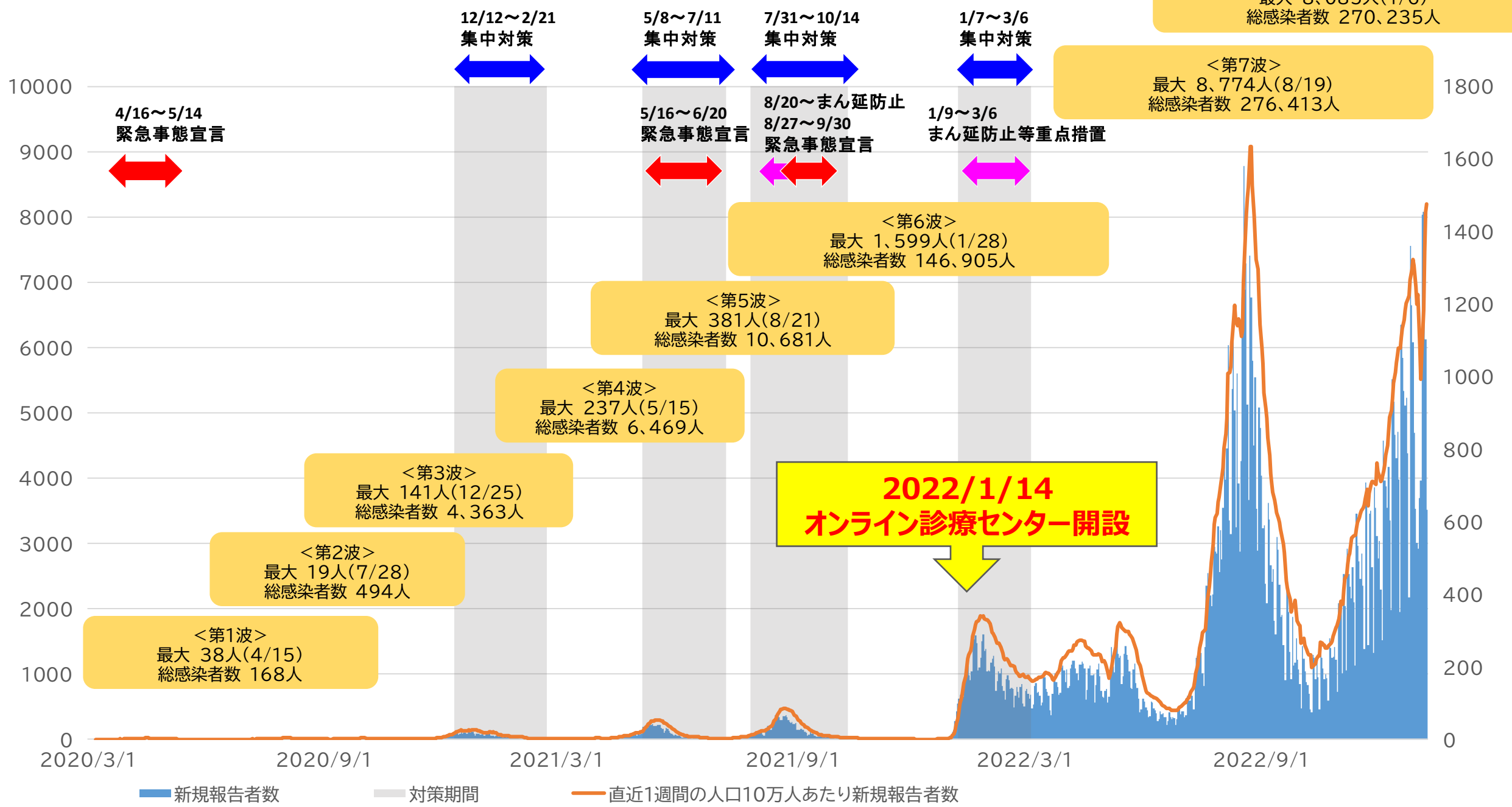
広島県健康福祉局

広島県医師会

広島県薬剤師会

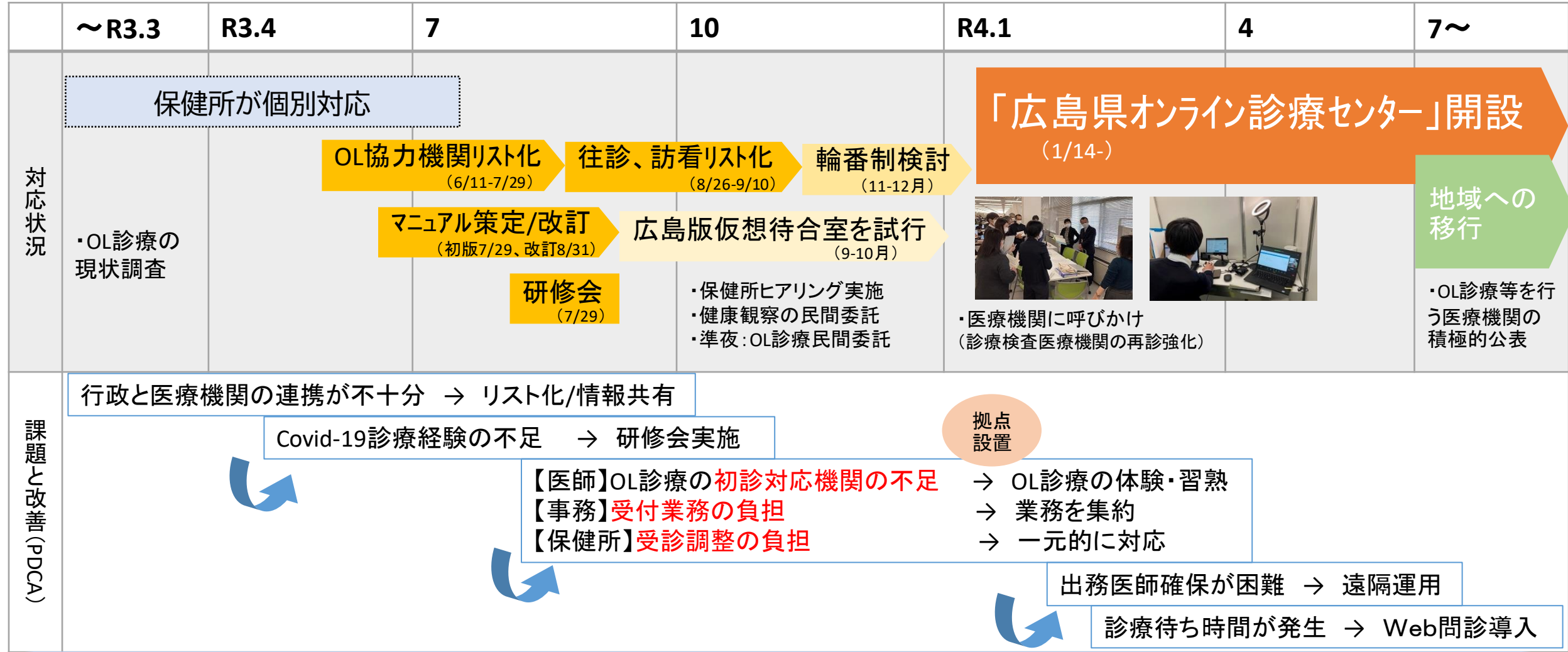
1 広島県の状況/感染状況 (R5.1.9まで)

<今回の感染拡大> (R4.10.16~R5.1.9時点)
 最大 8,085人(1/6)
 総感染者数 270,235人



1 広島県の状況/自宅療養者への医療提供の取組み

関係団体(医師会、薬剤師会等)の協力を得ながら、感染拡大時における体制の整備に努める。
 地域の医療機関では対面診療が困難な状況の中、オンライン(OL)診療を模索し続け、PDCAサイクルの中で進化

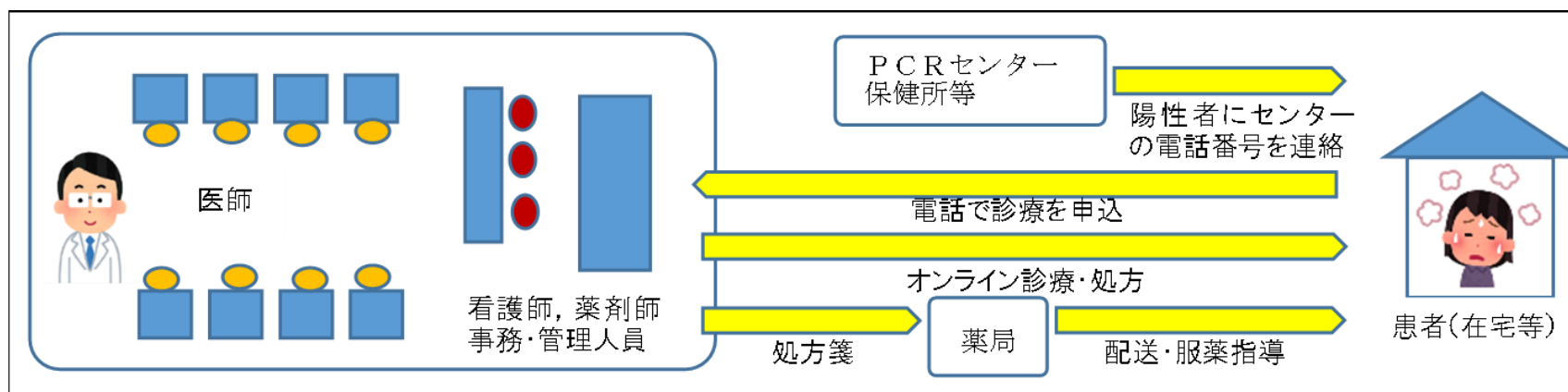


県民が安心して自宅療養できる体制を確保

2 概要/位置づけなど

広島県における感染急拡大を受け、1/9～県と関係団体で実施協議を開始

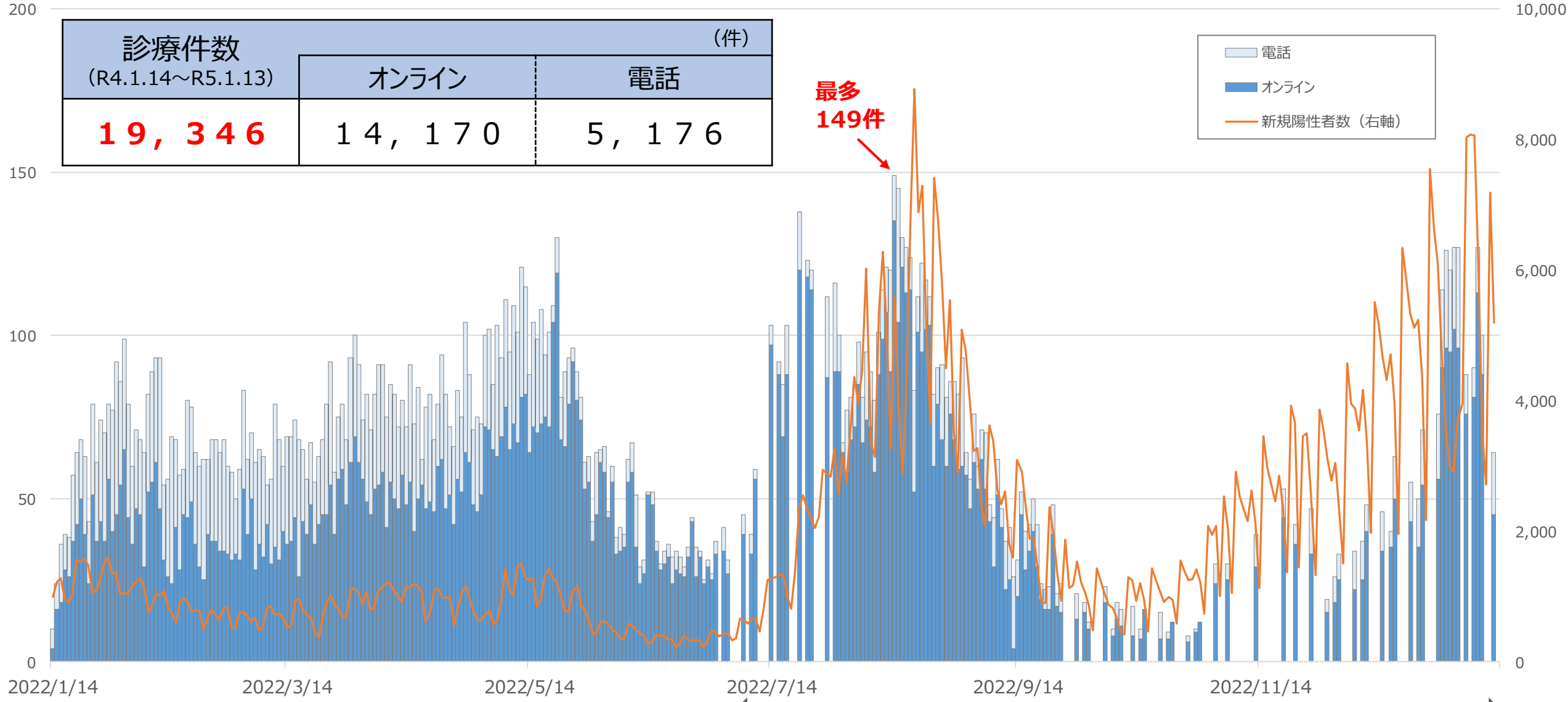
区分	内容
名称	広島県オンライン診療センター
開設日	令和4年1月14日（開設までの <u>準備期間：約1週間</u> ）
設置目的	自宅等で療養中の、発熱等の症状がある新型コロナウイルス感染症の <u>陽性者を早急に医療につなげる</u>
位置づけ	特措法に基づき、都道府県が設置する <u>臨時の医療施設</u>
対象者	有症状のCovid-19陽性者
体制	県医師会等関係団体の協力により、 <u>医師、薬剤師、看護師が常駐</u>
開設時間	9：00～20：00 <u>※現在は感染状況に応じて開設日時を調整</u>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none">・拠点整備により、有症状の自宅療養者に対する受診機会の拡充・オンライン診療やコロナ診療の経験が少ない医師に対する技術や知識の向上



2 概要/診療実績(開設後1年間)

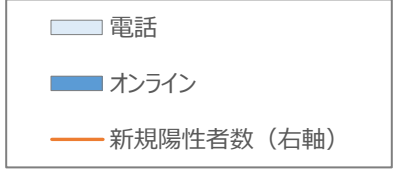
診療件数 (件)

新規陽性者数 (人)



診療件数 (R4.1.14~R5.1.13)	(件)	
	オンライン	電話
19,346	14,170	5,176

最多
149件



← 感染状況に応じて、診療日を調整 →

感染状況に応じて、診療日を調整

全体のフロー

受付・Web問診

SymView 広島県オンライン診療センター

受診される方の情報をご登録ください

氏名

姓 名

セイ メイ

#カタカナで入力できない場合は、英語でご入力ください

誕生日 年 月 日

オンライン診療



患者自宅

① 受付・診察・
薬局調整

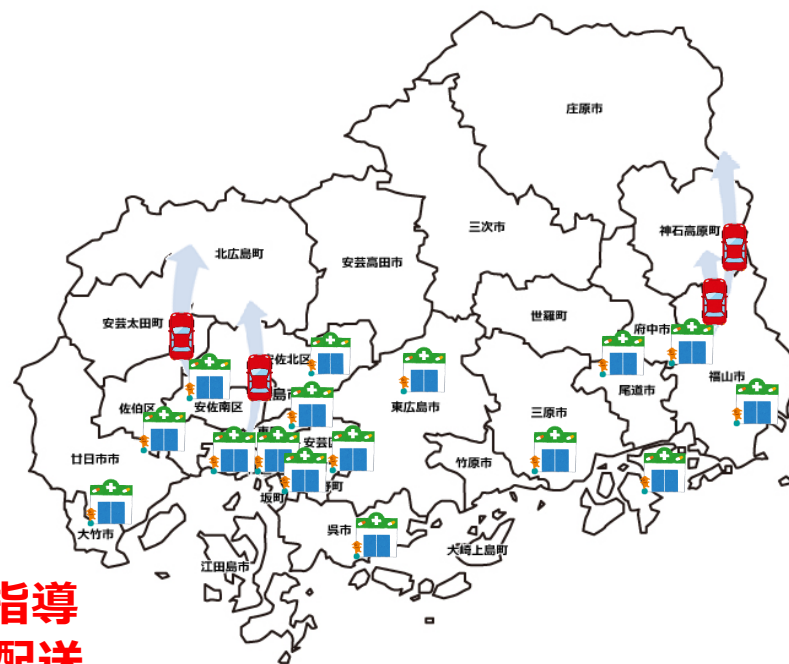
オンライン診療
センター



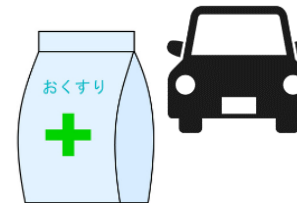
② 処方薬調整
・処方箋のFAX

③ 服薬指導
・薬の配送

薬局



夜間・休日等の当番薬局



3 運営/採用したシステム等

	Web問診	オンライン診療	診療録の共有	保健所への報告	データ分析
名称	SymView	curon typeC	HMネット (広島医療情報ネットワーク)	HER-SYS	J-SPEED
提携	(株)レイヤード	(株)MICIN	広島県医師会	厚生労働省	広島大学 大学院 医系科学研究科 公衆衛生学
導入	R4.5.20	R4.1.14	R4.3.1	R4.1.14	R4.1.14
イメージ					
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> 受付時間短を約1/3に短縮 初診患者の情報を、医師へ漏れなく提供できる 	<ul style="list-style-type: none"> 患者は専用アプリのダウンロード不要(ブラウザから利用) 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が自院から診察可能(患者情報を安全に共有) 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅療養者の状況を保健所へ共有 	<ul style="list-style-type: none"> 受診患者の傾向を可視化・分析

イメージ

J-SPEED

(災害診療記録及び災害時診療概況報告システム)

を活用したセンター独自の診療録を作成

協力：広島大学 大学院 医系科学研究科 公衆衛生学
久保達彦 教授

【導入目的】

- ・チェックボックスによる**医師の負担軽減**
- ・複数の医師が従事する体制における**診療の標準化**

【活用】

- ・データを集計管理（全診療日）
- 分析結果を関係者に共有（週1回）

広島県オンライン診療センター診療録

診療日	西暦 2022 年 月 日 (:)	ID	
カナ氏名			
患者氏名	男・女		
生年月日	西暦 年 月 日 () 歳		
患者住所	〒 -		

医師氏名		(所属医療機関名:)		
J-SPEED 統計項目 <small>深處ではまるもの全てに印 (全項目、複数選択可)</small>		診療記録欄		
所見	20 <input type="checkbox"/> 重症(緊急での入院調整必要)	バイタルサイン <small>必要な項目のみ記載</small>	体温: °C SpO2: %	
	21 <input type="checkbox"/> 中等症(要入院)		脈拍: /分 呼吸数: /分	
	22 <input type="checkbox"/> 軽症(要外来受診)		血圧: / mmHg 身長/体重: cm/ kg	
	23 <input type="checkbox"/> 軽症(自宅療養継続可)	主訴		
	24 <input type="checkbox"/> 無症状			
	25 <input type="checkbox"/> ストレス関連症状あり			
	26 <input type="checkbox"/> 緊急のメンタルケアニーズあり			
	27 <input type="checkbox"/> 療養生活に関する心配事・相談あり	現病歴	リスク因子: <input type="checkbox"/> 61歳以上 <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 <input type="checkbox"/> COPD <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 脂質異常 <input type="checkbox"/> 肥満 <input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 脳形麻痺後遺症/免疫不全 <input type="checkbox"/> 免疫抑制剤服用 <input type="checkbox"/> その他既往症()	
	28 <input type="checkbox"/> 周囲の家族・接触者に関する心配・相談あり			
	29 <input type="checkbox"/> その他()			
30 <input type="checkbox"/> 薬剤処方	処置等			
31 <input type="checkbox"/> 保健所に連絡・引継ぎ				
32 <input type="checkbox"/> 県入院相談アドバイザーに連絡				
33 <input type="checkbox"/> その他()	時間			
34 <input type="checkbox"/> 医師対応 10分未満				
35 <input type="checkbox"/> 医師対応 10分以上 20分未満(医師の対応)				
36 <input type="checkbox"/> 医師対応 20分以上(医師の対応)	評価			
37 <input type="checkbox"/> 充分(オンラインである程度対応できた)				
38 <input type="checkbox"/> 不十分(オンライン診療が困難な事例)				
調査ガイド				
<input type="checkbox"/> 25. ストレス関連症状あり=不眠、頭痛、めまい、食欲不振、胃痛等 <input type="checkbox"/> 26. 緊急のメンタル・ケアニーズあり=自殺企図、問題行動、不穏等				
診断	COVID-19			
処方	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有(処方箋参照) <input type="checkbox"/> アレルギー(有・無)			
転帰/方針				
対応者署名	看護師	薬剤師	業務調整員	
	HER-SYS 入力	J-SPEED 入力		

課題 協力医師の確保 「協力したいけれどセンターまで遠いよ。」

HMBoxの活用
による遠隔運用

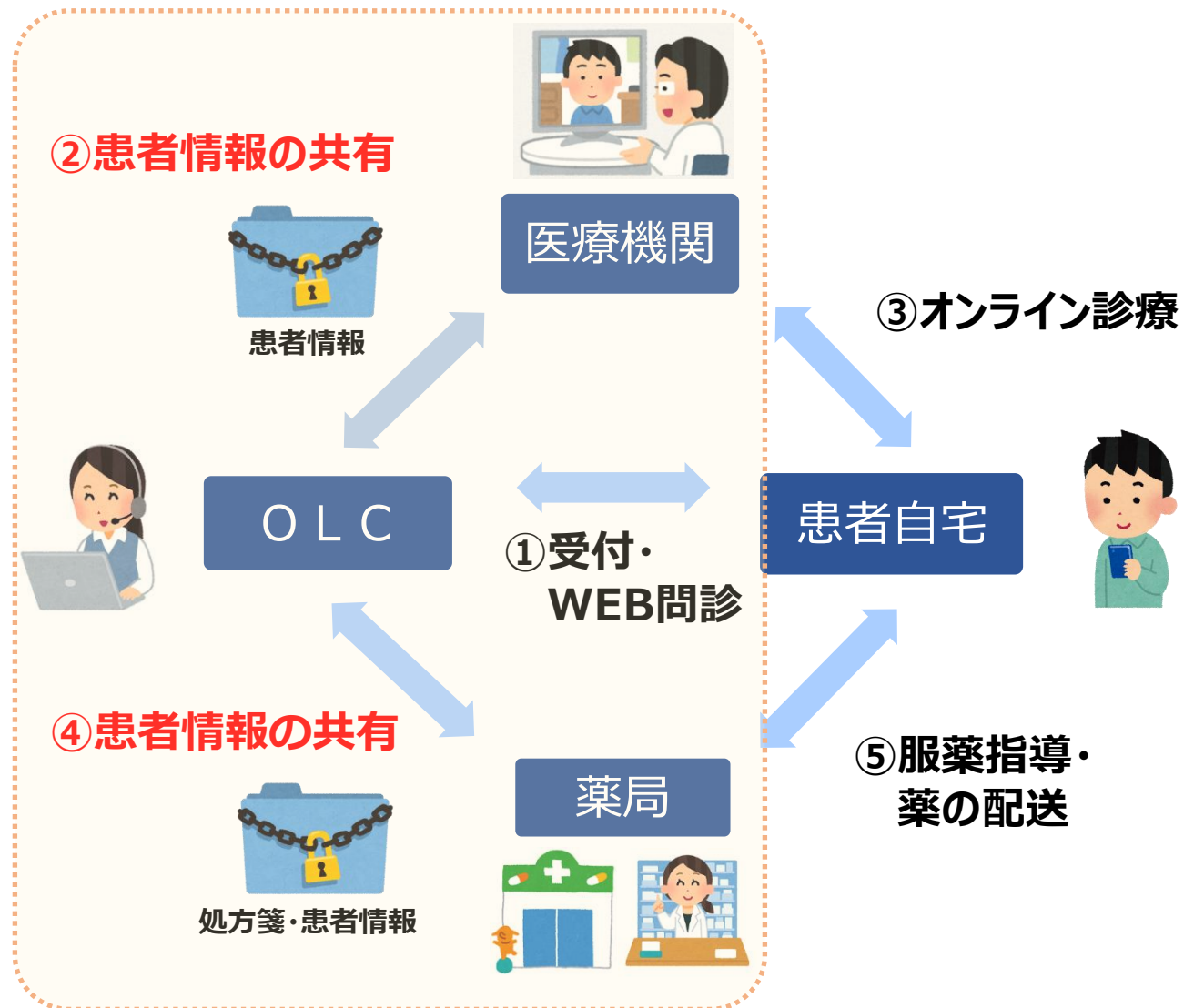
遠隔運用の実施

改善策

遠方の医師が**移動の負担**なく、**セキュリティ面でも安全**な環境の中で、自院から診療を行える体制を整備する。

- 広島県と県医師会が運用方法を協議
- センター事務局から協力医師に必要な機材を貸出
(タブレット、Wi-Fiルーター、携帯電話 等)
- 必要に応じて、センターと医師をZoomで接続
- 患者情報の共有は、セキュリティ面を考慮して、**HMネット***内のストレージサービスを活用

*広島県と広島県医師会が構築し運営する
ひろしま医療情報ネットワーク
(Hiroshima **M**edical **N**etwork)



課題 関係者間で迅速な情報共有ができていない

LINEグループを作成

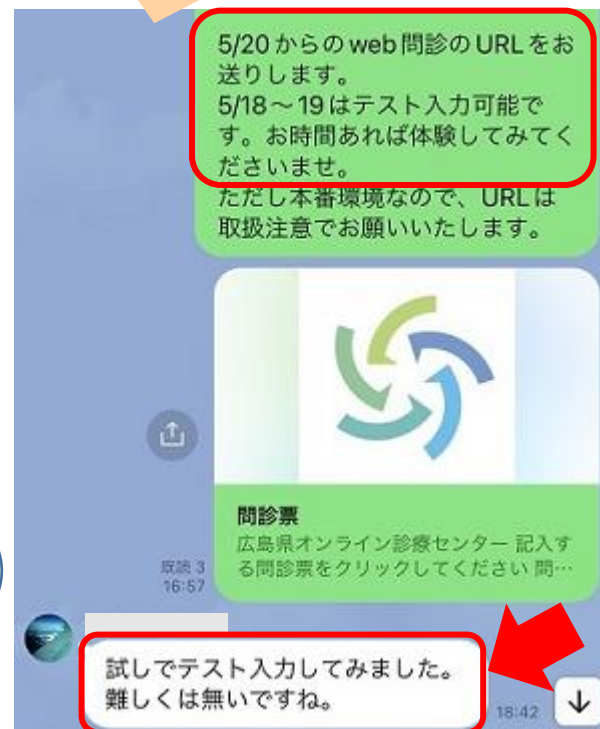
改善策

診療実績の定期報告等を発信することにより、**タイムリーに関係者間で共有し、安定的な診療体制の確保**に資する

- 広島県が運用の基本ルールを作成
 - センター事務局が管理し、出務医師をメンバーとする関係者限定のグループ（任意）
 - 発信のペースは、1日1~2回
 - 〔定時〕 診療状況の報告
 - 〔随時〕 運用方法の変更
- 困難な事案の共有
緊急時の支援依頼（患者急増など）

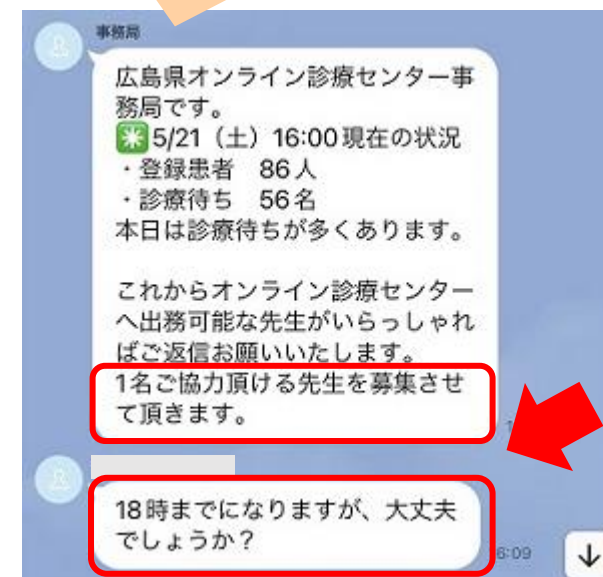
行政での公式な活用例は少ないが、仕組みの有用性を確認できた。

WEB問診の導入時...



出務医師がWEB問診を体験し、迅速に必要な項目の追加など意見聴取できた。

患者急増でピンチ...



出務可能な医師の**迅速な応援**により、診療待ちが解消できた。

課題 夜間や土午後・日祝日の診療時間は薬局が閉まっている

地区別当番薬局体制を構築

改善策 地区別当番薬局の配備により、切れ目ない薬物治療体制の確保に資する

- 広島県薬剤師会、支部薬剤師会の協力により当番薬局体制を構築
- 夜間、土曜日午後、日祝日に配備
- 県内 16 薬局程度/日
- 患者の状況に応じて速やかにお届けし服薬指導 (患者数の急増等で翌日お届けの場合がある)



薬局との調整の様子

こんな苦勞も

服薬指導だけでなく、一般の状況を教えてもらい気持ちが落ち着いた

薬が早く手に入り楽になった

夜間の新興住宅地は表札がなく、患者宅が見つからない...



夜間・休日等の当番薬局



データ分析

<集計期間:R4.1.14~R5.1.10>

報告内容		直近7日	前週報告値からの増減	累計	割合※
No.	登録件数	405	-288	19284	
年代	0歳-9歳	13	-43	1798	9.3%
	10歳-19歳	29	-32	2155	11.2%
	20歳-39歳	147	-54	6748	35.0%
	40歳-59歳	116	-69	5980	31.0%
	60歳-79歳	81	-63	2189	11.4%
	80歳-	19	-27	412	2.1%
性別	1 男性	188	-112	8595	44.6%
	2 女性(妊娠なし・不明)	215	-176	10539	54.7%
	3 妊婦	1	-1	149	0.8%
紹介元	4 保健所	218	-119	14474	75.1%
	5 PCRセンター	17	-13	839	4.4%
	6 診療・診療の医療機関	94	-64	1715	8.9%
	7 家族や知人	42	-36	1047	5.4%
	8 その他	43	-65	1351	7.0%
かかりつけ医	9 かかりつけ医あり	195	-168	8498	44.1%
	10 かかりつけ医なし	208	-122	10696	55.5%
観察状態	11 保健所から電話による連絡あり	81	-94	12305	63.8%
	50 保健所からSMSによる連絡あり	246	-149	3123	16.2%
	12 保健所から連絡等連絡なし	77	-48	3812	19.8%
診察方法	13 オンライン	367	-180	14274	74.0%
	14 電話	37	-110	4668	24.2%
ワクチン	15 ワクチン接種(0回)	94	-92	6041	31.3%
	ワクチン接種(1回)	0	-5	194	1.0%
	ワクチン接種(2回)	71	-72	7183	37.2%
	ワクチン接種(3回)	135	-45	4676	24.2%
	ワクチン接種(4回)	70	-43	709	3.7%
	ワクチン接種(5回)	35	35	146	0.8%

【年代】

- 20~30代の占める割合が高い

【診療方法】

- 情報通信機器を用いたオンライン診療の割合が7割を超える

※高齢者など一部は電話診療

データ分析

<集計期間:R4.1.14~ R5.1.10 >

報告内容		直近7日	前週報告値からの増減	累計	割合※
体調	16 息苦しい	80	-49	3118	16.2%
	17 水を飲めない	27	-31	964	5.0%
	18 下痢をしている	44	-17	2632	13.6%
	19 お世話をしてくれる同居者がいない	50	-27	3165	16.4%
所見	20 重症（緊急での入院調整必要）	0	-1	19	0.1%
	21 中等症（要入院）	1	-1	58	0.3%
	22 軽症（要外来受診）	11	-13	723	3.7%
	23 軽症（自宅療養継続可）	391	-267	18242	94.6%
	24 無症状	1	-8	206	1.1%
	25 ストレス関連症状あり（*調査ガイド参照）	0	0	49	0.3%
	26 緊急のメンタルケアニーズあり*	0	0	4	0.0%
	27 療養生活に関する心配事・相談あり	2	0	124	0.6%
	28 周囲の家族・接触者に関する心配・相談あり	3	3	61	0.3%
29 その他	1	-7	153	0.8%	
処置等	30 薬剤処方	390	-277	17921	92.9%
	31 保健所に連絡・引継ぎ	7	-23	692	3.6%
	32 県入院相談アドバイザーに連絡	0	0	7	0.0%
	33 その他	2	-7	386	2.0%
時間	34 医師対応10分未満	378	-277	17311	89.8%
	35 医師対応10分以上20分未満(医師の対応)	25	-11	1746	9.1%
	36 医師対応20分以上(医師の対応)	2	0	106	0.5%
評価	37 充分（オンラインである程度対応できた）	399	-280	18806	97.5%
	38 不十分（オンライン診療が困難な事例）	6	-8	415	2.2%

【所見】

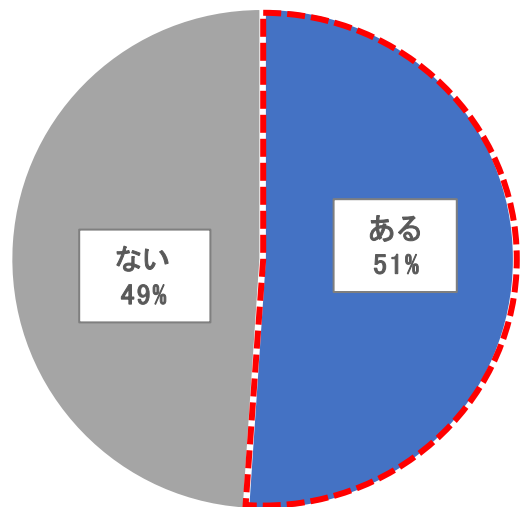
- 「重症～軽症（要外来受診）
対応困難な事例は保健所へ引継ぐ
- 「軽症（自宅療養継続可）」が**94.6%**

【評価】

- オンライン診療で充分対応可能な症例が
97.5%

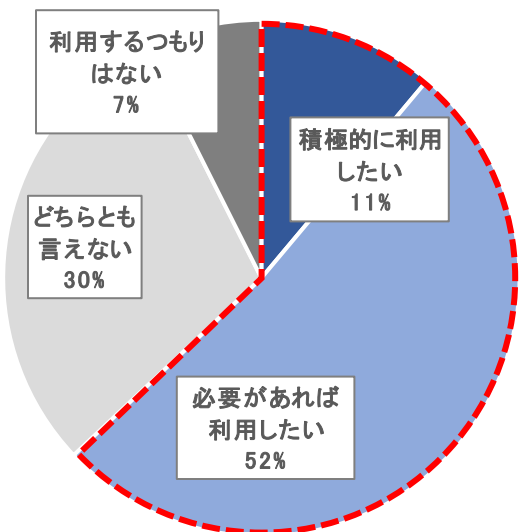
※ 未回答等により、合計が100%とならない項目あり

① オンライン診療経験の有無 ※当センター以外



**経験あり
51%**

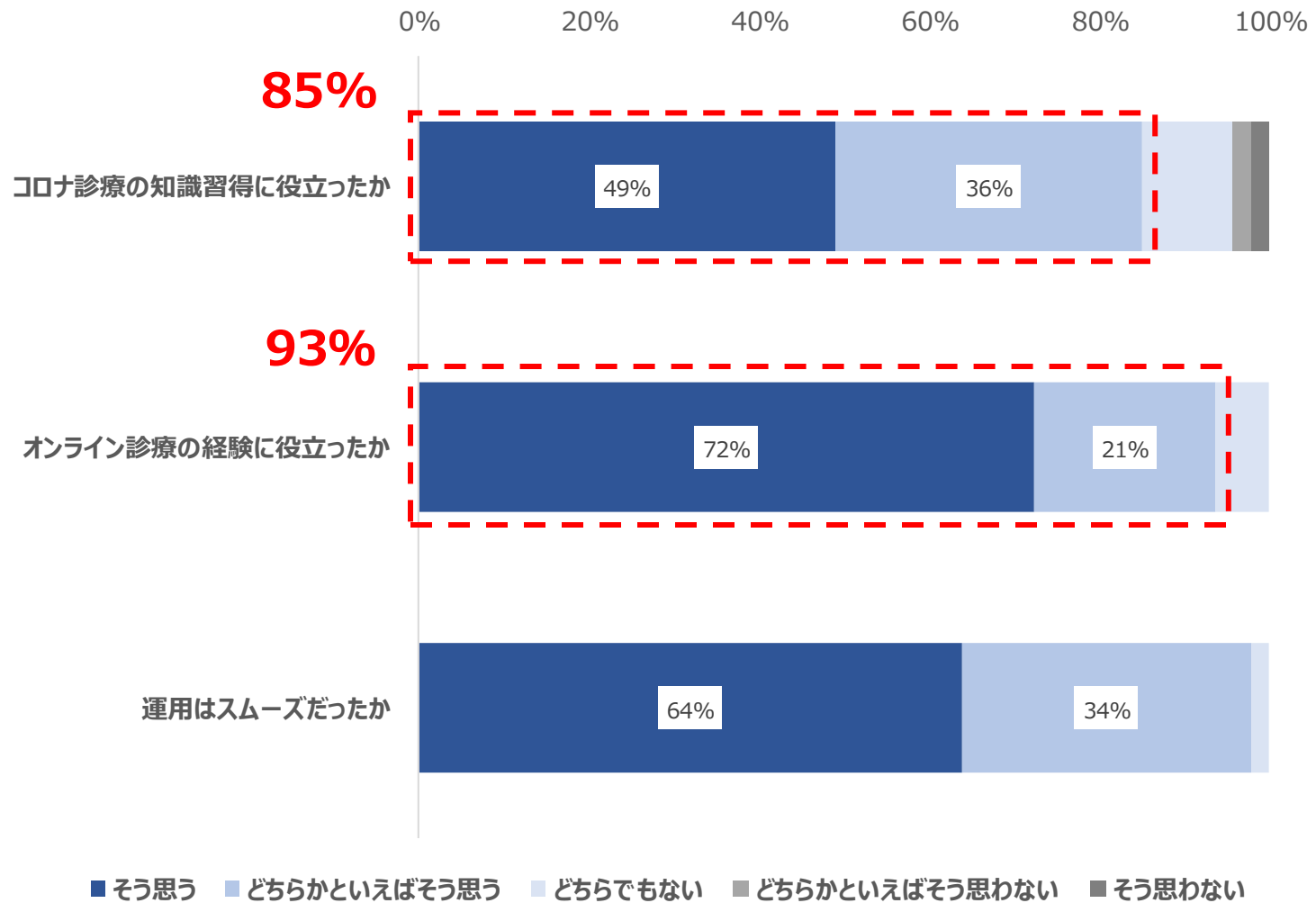
② 自院での診療で利用するか ※①で「ない」と回答



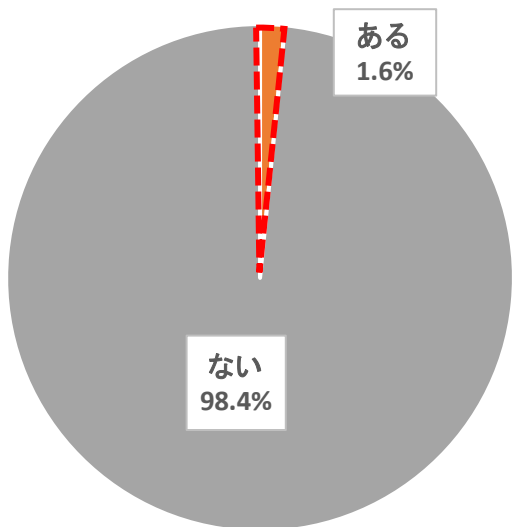
**利用意向
63%**

③ 当センターでオンライン診察を行なった感想

■ 調査期間：R4.1.14～5.31
■ 調査方法：Webアンケート調査 (n=47)

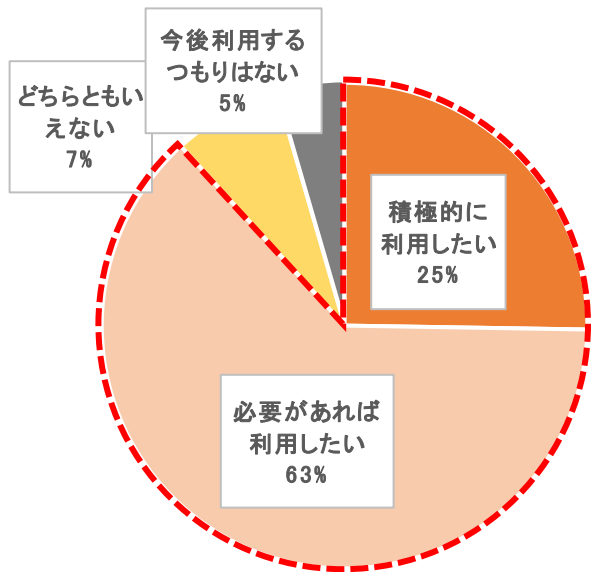


① オンライン診療経験の有無



**経験あり
1.6%**

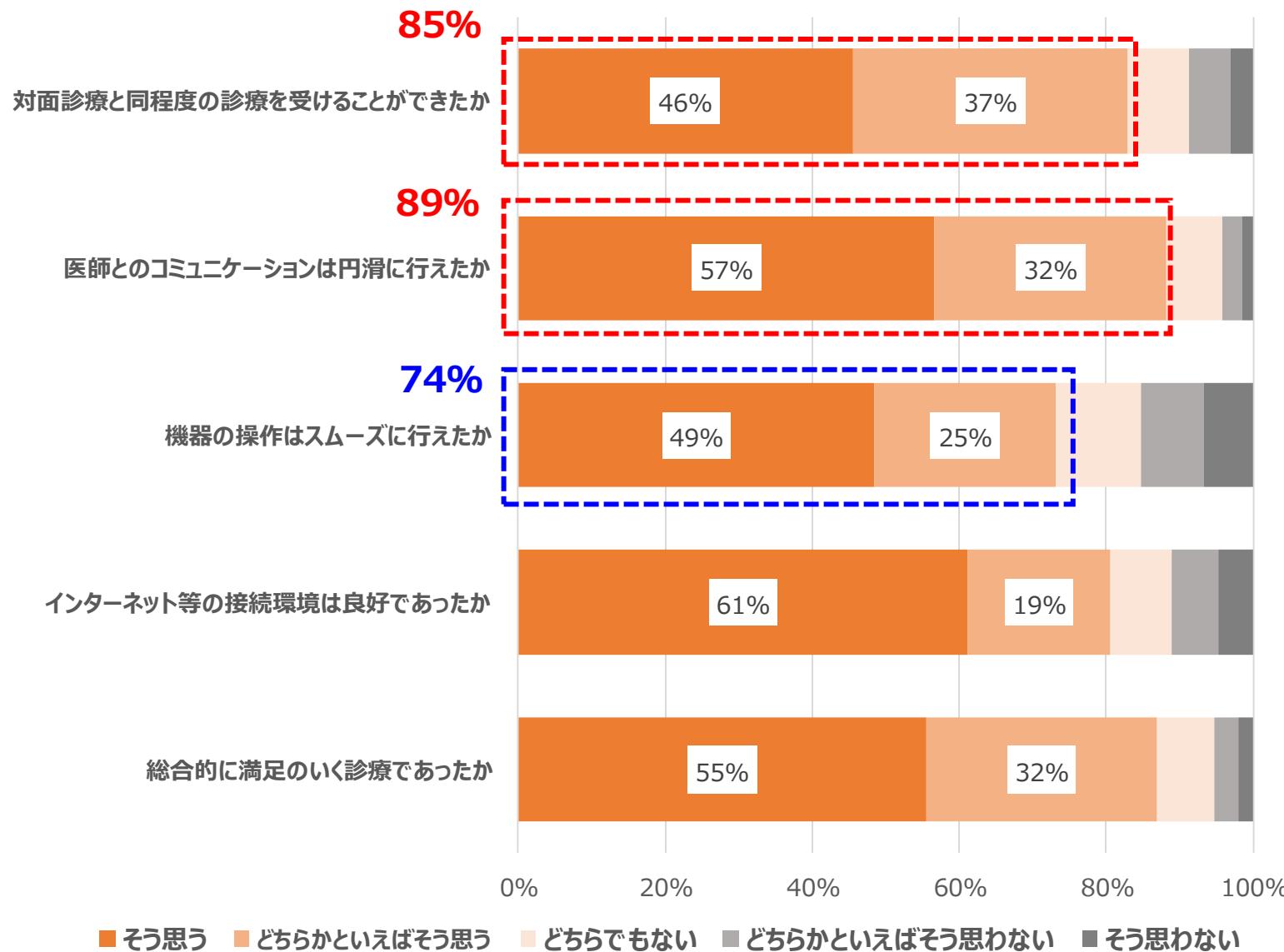
② 今後も利用したいか ※covid-19以外も含む



**利用意向
88%**

③ オンライン診療を受診した感想

■ 調査期間：R4.1.14～11.30
■ 調査方法：Webアンケート調査 (n=3,513)



広島県の取組の特長

- ① 感染拡大状況を鑑み、**他県に先駆けて設置**（令和4年1月～）
- ② **関係団体と行政がチーム**となり診療体制を構築
- ③ **柔軟なアイデア**で、PDCAサイクルを回し続ける



成果

- ① **19,000件**を超えるオンライン診療を実施（令和5年1月13日時点）
- ② covid-19自宅療養者へ**早期に医療を提供**
- ③ **ICT活用**による円滑な医療提供体制の確立（オンライン診療システム、WEB問診等）

新興感染症・災害時のみならず、医療資源の少ない中山間地域における活用にも期待

令和4年1月初旬、本県の第6波の立上がりは驚異的なものでした。
 広島県では、自宅療養者に必要な医療を提供するため、即応性と安全性の
 バランスを考慮しながら、約1週間で診療拠点を設置しました。
 十分とは言えませんが、多くの県民の方に医療と安心をお届けすることができ、
 多大なるご協力をいただいた関係の皆様に関心よりお礼を申し上げます。

広島県在宅療養者診療体制整備班 班長 医務課長 伊東 典代（所属は開設当時）

【開設時(R4.1)の役割及び構成メンバー】

役割	構成メンバー
総合調整、拠点設置、医療法等	広島県医務課(コロナ:在宅療養者診療体制整備班)、薬務課(調剤体制整備)
Covid-19関係	広島県新型コロナウイルス感染症対策担当
医療従事者確保、出務調整	広島県医師会、広島県薬剤師会、広島県ナースセンター、広島市内の主要病院
OL診療オペレーション検討	NPO法人ピースウィンズ・ジャパン、合同会社CSP
データ分析	広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 久保達彦教授



立上げ初日のミーティングの様子